

# 2021年度九州体育・保健体育ネットワーク研究会 ファイナル in 福岡 ポストコロナ、東京2020がもたらす体育・保健体育の現在

## 1 目的

九州各県の体育科・保健体育科教育に関わる小中高の学校関係者、教育委員会関係者、大学関係者によって構成される有志が、新学習指導要領への理解、体育学習や保健学習に関する授業力の向上、教育課程編成等体育科教育の充実に向けて、語り合う機会とし、九州から全国へ実践ベースの情報を発信する。また、全国体育・保健体育ネットワーク研究会の交流を促進する。

## 2 主催／共催／後援

- 〔主催〕九州体育・保健体育ネットワーク研究会、北海道・東北ネットワーク研究会  
北信越ネットワーク研究会、中国・四国ネットワーク研究会、関東・東海・関西ネットワーク研究会  
〔共催〕福岡県体育研究所、鹿屋体育大学、宮崎大学、熊本大学、福岡教育大学  
〔後援〕佐賀大学、大分県教育委員会、沖縄県教育委員会、鹿児島県教育委員会、熊本県教育委員会  
長崎県教育委員会、福岡県教育委員会、宮崎県教育委員会、佐賀県教育委員会  
〔協力〕台湾師範大学、韓国中央大学

## 3 期日

令和4年3月5日（土） 10:00～17:00（受付：9:30～）

## 4 場所

福岡県立スポーツ科学情報センター（アクション福岡）  
住所 〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2-1-4 TEL 092-611-1717

## 5 方式

- 対面 100名まで 先着順  
Web 300名まで 参加可能  
※ 新型コロナウイルス感染症の拡大の場合、Webのみでの開催といたします。

## 6 内容

- 9:30 受付  
10:00-11:30 ポスターセッション（発表は、ハイブリッド形式で実施）  
テーマ別セッション・ルームでの研究成果、教材等の発表  
12:30 開会式  
第1部  
12:40-13:30 ポストコロナにおける保健体育への期待  
関 伸夫（国立教育政策研究所教育課程調査官 併 文部科学省教科調査官）  
第2部  
13:40-15:20 世界はICTをどのように保健体育で進めているのか（Web 国際シンポ）  
Ching-Wei, CHANG（台湾師範大学）  
佐藤豊（桐蔭横浜大学）  
司会・通訳：本多壮太郎（福岡教育大学）  
第3部  
15:30-16:30 体育・保健体育のICT活用はどのように進むのか  
小学校 中島寿宏（北海道教育大学）  
清田美紀（東広島市教育委員会）、宮田幸治（長崎市立上長崎小学校）  
中学校 石川泰成（埼玉大学）  
岩佐知美（高槻市立阿武野中学校） 後藤真一郎（大分市立上野ヶ丘中学校）  
高等学校 高橋修一（日本女子体育大学）  
佐藤若（山形県立上山明新館高等学校）、小松陽子（福岡県立福岡魁誠高等学校）  
16:30- 事務連絡  
16:40- 閉会式  
※ 状況によって、WEB開催とします。

## 6 資料代（研究紀要）

2,000円（学生は、1,000円）

※ Web参加の方は、各自お振込みいただいた後、発送いたします。

※ 九州ネットワークの会費については、2021年度会費未納入者のみ徴収します。

## 7 参加申し込み

下記アドレスを直接アドレスバーに打ち込み、HPへアクセスし送信ください。

なお、2月25日（金）までにお申し込みください。（携帯からのアクセスも可）  
ポスター申し込みもこちらからです。※ポスター締切は、1月31日（月）です！

<https://forms.gle/Jv8C3Wbubxy2e7A49>

申し込み画面にジャンプします。

スマホからの参加

申込はこちらから

問い合わせは、事務局：椛（かこい）<[chichicaco@nifs-k.ac.jp](mailto:chichicaco@nifs-k.ac.jp)>  
までお願いします。



## 8 その他

- ◆ コロナ禍での開催であるため、会場での参加は100名までとします。（先着順）
- ◆ 宿泊については、各自手配をお願いします。（非常に取りにくくなっています。お早目に！！）

## 9 問合せ／連絡先

事務局：鹿屋体育大学 スポーツ人文・応用社会科学系

担当：椛 ちか子（0994-46-4971, [chichicaco@nifs-k.ac.jp](mailto:chichicaco@nifs-k.ac.jp)）

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

TEL/FAX 0994-46-4971

## 10 会場案内



### バス

JR博多駅 バスターミナル14番乗り場から

37, 39, 39-Bのバス・・・約20分

（月隈団地経由）（アクション福岡前下車）

福岡空港 地下鉄4番出口 福岡空港前バス停から37, 38, 39のバス・・・約7分

### 車

JR博多駅から・・・約20分

都市高速道路利用の場合

福岡方面から：月隈ランプ出口を降りて・・・約6分

太宰府方面から：金の隈ランプ出口を降りて・・・約9分

## 【ポスターセッション 発表者一覧】

### <前半> 10:00~10:45

#### (ルーム1)

- 大学を拠点とした鹿児島県大隅地区の体育授業及び運動指導サポートモデル  
～令和3年度スポーツ庁委託事業 武道等指導充実・資質向上支援事業（指導成果の検証）～  
梶ちか子・前阪茂樹・金高宏文・小澤雄二・北村尚浩・浜田幸史（鹿屋体育大学）
- 部活動において外部指導員と教員による指導の違い～より効果的な活用方法とは～  
田中海七太（桐蔭横浜大学4年）・佐藤 豊（桐蔭横浜大学）
- 中学校・高等学校の部活動における遠隔指導の可能性について  
大場美羽（桐蔭横浜大学4年）・井口成明（桐蔭横浜大学）

#### (ルーム2)

- 新型コロナウイルス感染症パンデミック期の子どもの身体活動：国際誌論文のスコーピング・レビュー  
四方田健二（名古屋学院大学）・粟田昇平（大阪体育大学）
- 部活動における体罰発生理由の考察  
堤 翔（桐蔭横浜大学4年）・佐藤 豊（桐蔭横浜大学）
- コロナ禍における体力向上に向けた保健体育授業の提案  
大江 厚（桐蔭横浜大学4年）・井口成明（桐蔭横浜大学）

#### (ルーム3)

- 授業支援ツール（ロイロノート）の導入で変わったこと  
岩崎 敬（大分県日田市立高瀬小学校）
- 教師の態度に関する研究～体育系大学生が考える望ましい教師像～  
北脇嵩祥（鹿屋体育大学4年）・梶ちか子（鹿屋体育大学）
- 生徒が主体的になる保健授業の創造 ～ジグソー法を取り入れた授業実践～  
四津谷菜々（桐蔭横浜大学4年）・井口成明（桐蔭横浜大学）

#### (ルーム4)

- 「共生」の視点を重視したゲートボール教材の実践研究  
三田部勇・松元 剛・齋藤拓真・松尾博一・湊上真帆（筑波大学体育系）・青野寛子（茨城県取手市立取手西小学校）  
折田明世（鹿児島県南九州市立中福良小学校）・児玉義人・鈴木 俊二（鹿児島県ゲートボール協会）
- 共生の視点を踏まえた体育の授業づくり  
山田弥香（福岡教育大学大学院1年）
- 子どもの潜在能力を高める自然体験活動の可能性について  
永木雅也（桐蔭横浜大学4年）・井口成明（桐蔭横浜大学）

#### (ルーム5)

- 中学校保健体育授業における「男女共習」での指導の充実  
井上 要（福岡県北九州市立南曾根中学校）
- スポーツの平等性に関する意識の現状-学生アスリートのインタビュー調査から-  
有蘭ゆい（鹿屋体育大学4年）・梶ちか子（鹿屋体育大学）
- 子どもたちが夢中で取り組み自分の動きを追求する姿を目指して～小学校3年生ゴール型ゲーム～  
西 沙織（熊本大学教育学部附属小学校）

#### (ルーム6)

- 仲間と関わり合いながら動きを高める第6学年体育科学習指導～思考と試行を位置付けた学習活動の工夫を通して～  
井口清隆（久留米市立上津小学校）
- 児童の主体的・対話的で深い学びにつながる器械運動の動画教材の開発  
高岡耕平（鹿屋体育大学4年）・梶ちか子（鹿屋体育大学）
- 共に学び合う授業づくり～課題解決型学習の改善～  
石垣桂一（桐蔭横浜大学4年）・井口成明（桐蔭横浜大学）

## <後半> 10:45~11:30

### (ルーム1)

- ・スポーツの価値を基盤とした授業実践～誰もが楽しめる体育祭の実践を目指して～  
大谷麻子（神戸大学附属中等教育学校）
- ・生徒の意欲を引き出す保健・体育理論の授業～教師の授業の進め方，談話の使い方に着目して～  
遠矢浩人（鹿屋体育大学4年）・梶ちか子（鹿屋体育大学）
- ・スポーツピクトグラムを活用した体育理論領域における授業の提案  
篠原 唯（桐蔭横浜大学4年）・井口成明（桐蔭横浜大学）

### (ルーム2)

- ・アフターコロナを見据えた体育授業におけるICT活用の意義とその促進に関する研究  
木原慎介（東京国際大学，筑波大学人間総合科学研究科スポーツウエルネス学位プログラム）
- ・保健体育におけるICT活用の有用性  
相原大希（桐蔭横浜大学4年）・佐藤 豊（桐蔭横浜大学）
- ・生徒の印象に残っている保健体育教師の特徴～教師の言動・行動に着目して～  
大久保俊弥（鹿屋体育大学4年）・梶ちか子（鹿屋体育大学）

### (ルーム3)

- ・「わかって，できる」生徒を育成する体育授業の展開～「認識」への働きかけにICTを有効に活用する工夫を通して～  
松永武人（熊本県菊池市立泗水中学校）
- ・教師の生徒の呼び方による教師と生徒の意識の違いについて  
中本雄也（鹿屋体育大学4年）・梶ちか子（鹿屋体育大学）
- ・新しい運動部活動の在り方についての一考察  
田中宙弥（桐蔭横浜大学4年）・佐藤 豊（桐蔭横浜大学）

### (ルーム4)

- ・生徒も教師も学びたくなる授業を目指して  
小野寺理香（北海道北見市立常呂中学校）
- ・教師の声と表情が受講者に与える影響について  
上間朱梨（鹿屋体育大学4年）・梶ちか子（鹿屋体育大学）
- ・オンライン授業におけるオンデマンド型授業のメリットとデメリット  
佐藤雅也（桐蔭横浜大学4年）・井口成明（桐蔭横浜大学）

### (ルーム5)

- ・自他の「伸び」を実感できる生徒を育てる保健体育科学習指導～段階のねらいに応じた対話活動を通して～  
鈴木貴大（大野城市立大和中学校）
- ・レジスタンストレーニングが自己肯定感に及ぼす影響について  
長崎 司（桐蔭横浜大学4年）・佐藤 豊（桐蔭横浜大学）
- ・教材の開発と実践～ベースボール型ボール運動 第5学年～  
磨田慎太郎（熊本大学教育学部附属小学校）

### (ルーム6)

- ・運動への関わり方を広げることができる生徒を育てる保健体育科学習指導  
～目的に応じたupdate sheetの活用を通して～  
小松陽子（福岡県立福岡魁誠高等学校）
- ・中学校・高等学校の保護者対応の違い～新任教員とベテラン教員の対応の違いを中心に～  
山口寛永（鹿屋体育大学4年）・梶ちか子（鹿屋体育大学）
- ・睡眠と運動パフォーマンスの比例について  
梅澤 駿（桐蔭横浜大学4年）・佐藤 豊（桐蔭横浜大学）

(資料のみ)

- 早朝練習は必要か～体育系大学生・指導者のアンケートを手がかりに～  
山下将人（鹿屋体育大学 4 年）・梶ちか子（鹿屋体育大学）
- 野球の継続によるスポーツ障害の事例研究-イップス（投球障害）発症に着目して-  
小林樹功（桐蔭横浜大学 4 年）・佐藤 豊（桐蔭横浜大学）